|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第2学年　数学科学習指導案 | | | | | |
| 日　時 | | 平成23年6月17日　第6校時 | | | |
| 単元名 | | 連立方程式 | | | |
| 本  時 | 主題 | 連立方程式の利用 | | | 11／13 |
| ねらい | ○　連立方程式を用いて、具体的な課題を解決することができる。  ◎　自分で問題の続きを考え、発表することができる。 | | | |
| 準備物 | 問題提示用紙、ワークシート、自己評価カード | | | |
| 学　習　活　動 | | | ○学習内容　※指導上の留意点 | ◇評　価 | |
| １　本時の課題を知る。  ２　ア、イについて連立方程式を用いて考える。  ３　ウについて連立方程式を用いて考える。  ４　まとめ | | | 問　題  『　家から26km離れたデパートに行くのに、始めは自転車に乗って時速16kmで進み、途中でパンクしてしまったので、時速4kmで歩いて行くとちょうど2時間で着いた。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　』  に当てはまる、この問題の続きを考えよう。    ※問題の状況をイメージさせながら、徐々に問題を提示する。  ○　ワークシートに問題の続きを３つ書かせ、そのうちの1つを用紙に書かせて黒板に貼り付ける。  ・予想される生徒の考え  ア　パンクした地点はどこだろうか。  イ　デパートまで後何kmのところでパンクしたのか。  ウ　家を出発してからどれくらいの時間でパンクしたのか。   * ア、イの考えをもとに「パンクしたのは家から何kmの場所か」について連立方程式を用いて考えさせる。  1. ｘやｙを何にしたらよいか。 2. 図や表を作って問題を整理する。と言ったことを確認しながら解決していく。  * ウを解決するために、時間をｘ、ｙとして方程式を考えさせ、理解の深化を図る。   ○　本時のまとめをする。 | * 問題の続きを書くことができたか。 * 問題を解くことができたか。 | |